

●ニーチェの言葉●

- * 自分の立っている場所を、深く掘ってみなさい。君の泉は君の足元にある。
- * 「知る」という言葉がある限り、世界は知る事が出来る。
しかし、また別の解釈で世界を見ることもできる。
世界全体に意味はないが、意味づけは無数に可能である。これが「遠近法的思考」だ。
- * 好みをどうこういっても仕方ない、言うべきではないと人は言う。しかし、人生は「好み」をどうこういうことに尽きる。好みは人生の大切な尺度である。はかりである。
- * あなたがどのような人であっても、経験の源泉として自分自身に仕えることだ。自分の性格についての不満は投げ捨ててしまおう。自分自身の自我を許そうではないか。
なぜなら、どんな場合にもあなたは認識にむかって登っていける百段のはしごを備えているのだから。
- * 自分をダメだと感じたり、人を憎く思ったりするときは、疲れているのだ。そんなときは、さっさと寝よう。
- * 君の魂に住む気高い英雄を捨てるな、と。君の希望の高嶺を、最も神聖なものとして持ち続けてほしい。
- * 「どこから来たか」ではない。「どこに行くのか」だ。それが最も重要で、価値のあることだ。栄誉はそこに与えられる。今を越え、何を指してどこまで高みを登ろうとしているのか。
過去にしがみつくな。自分より下を見て安心したり自分をほめたり、現状に満足するな。
絶えず進め。より高みを指して。
- * 独創的とは、既に世間の中にあるものなのに、まだ気づかれていないようなものに気づき、それに名前を付けてみんなに改めて認識してもらうことが出来るような人間のことだ。
- * 人生とは、限りなく所有する競争のための時間ではない。
- * 感情や気分によって、途中で投げ出さないこと。最後まで広い愛をもつこと。これが本質に近づく方法だ。
- * 君の夢以上に、君が、君自身であるものはない。